

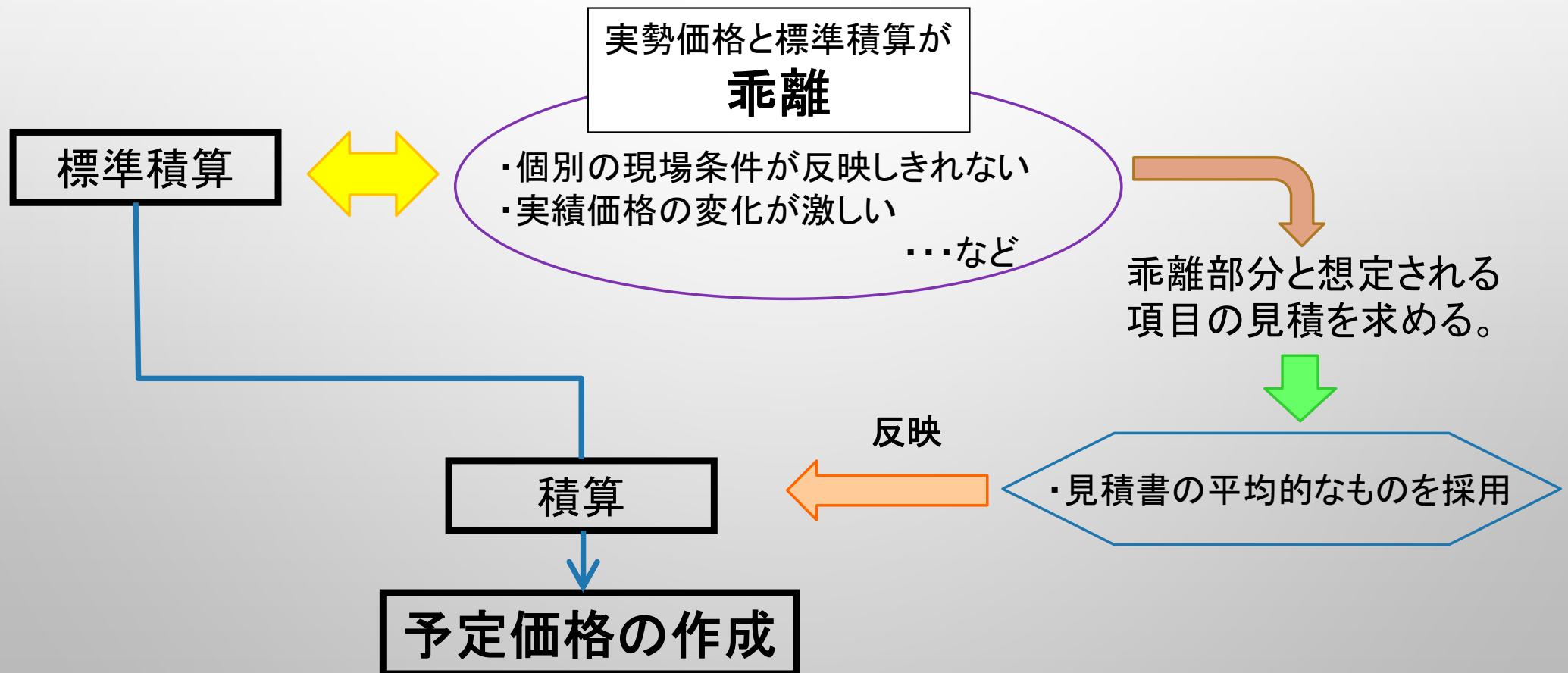
令和6年度 工事入札契約における取り組み

1. 見積活用方式の試行
2. 余裕期間制度の活用

見積活用方式の試行について

標準積算と実勢価格が乖離することが想定される工事について、**工事の入札参加者から**当該工種にかかる見積書の提出を求め、妥当性が確認できた見積価格を予定価格の基となる積算価格に反映する方式を試行。

○見積活用積算方式の概要



余裕期間制度の活用について

○「余裕期間制度」の試行

工事の着手前に建設資材や労働者の確保等の準備期間として「余裕期間」を設定し、工事の円滑な実施を確保する。(発注者指定方式、任意着手方式、フレックス方式)

余裕期間の設定

【通常工期】

契約日
(始期日)

工期末

現場稼働期間

(準備・後片付け含む)

【余裕期間を設定した場合】

契約日

着手日

工期末

余裕期間

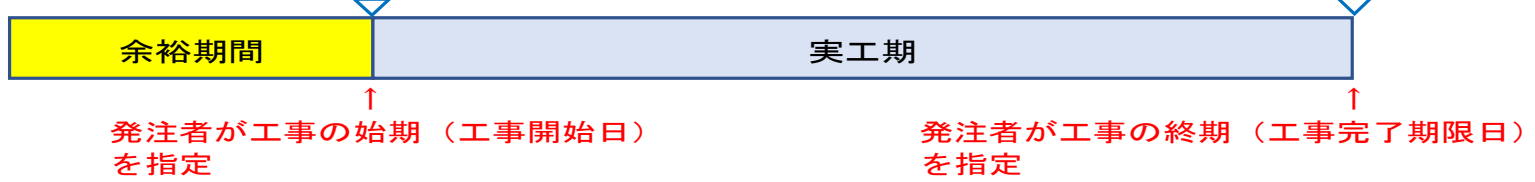
現場稼働期間

(準備・後片付け含む)

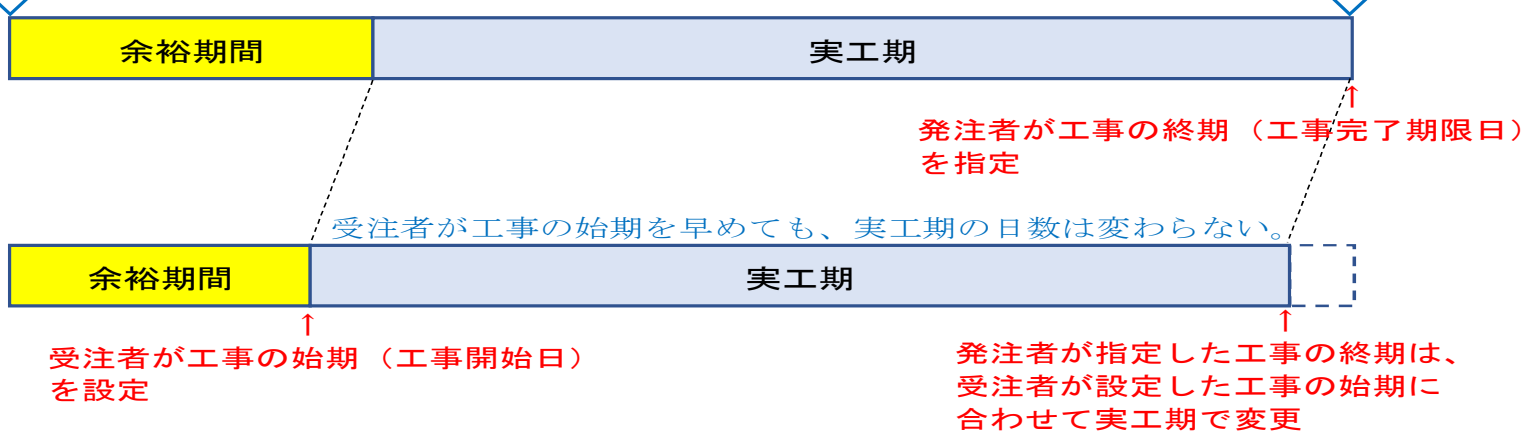
技術者等の配置
を要しない

(参考) 余裕期間制度について

① 「発注者指定方式」



② 「任意着手方式」



③ 「フレックス方式」

